

『長岡郷土史』執筆要項

令和四年五月二十八日改定

一 原稿の分量

原稿の分量は論考一編につき、四百字詰の原稿用紙換算で三〇枚以内です（図・表・写真などを含む）。提出方法は原稿用紙、デジタルデータなどで事務局に持参、郵送してください。

二 掲載方法

（一）判型

B五判、縦書き。一ページは二八字×二五行×二段組Ⅱ
一四〇〇字。文字の大きさは原則として一〇・五ポイントです。

（二）本文の見出し

次のように統一します。

章……一 節……（一） 項……ア

（三）注

本文への注を必要とする場合には、（１）（２）（３）と半角の記号で、本文当該箇所の右肩に示し、論文末に一括してください。注は九ポイントです。

（四）引用

他の文献などから引用を行う場合には、著作権に触れることのないように十分留意するとともに、必ずその出典を明らかにしてください。引用部分は「」とするなどし、明確にしてください。

参考文献は、論考末に一括し、著者名、書名（または論文名、掲載誌名）、出版社名、和暦発行年の順に示してください。

（五）用字・用語

原則として常用漢字と現代かなづかいを用いてください。年号、月日およびその他の数字は原則として漢数字を用いてください。なお、年号は原則として和暦とし、適宜カッコで西暦を付してください。

また、数字の表記は、年代・年齢などの時間の概念をあらわす場合は「十」を用い、数値をあらわす場合は「一〇」などと記してください。

（六）図、表、写真

図、表、写真は挿入場所を原稿に指示してください。写真はプリント、デジタルデータなどで提出してください（原則返却します）。

図、表、写真の印刷はすべて白黒となります。

図、表、写真等を他の著作物から引用する場合には、出典を必ず明記し、必要に応じて原著者または著作権保持者

からの使用許可を得てください。

図、表の番号は、図1、表1のように示し、図と表のそれぞれについて通し番号をつけ、タイトルもつけてください。
三 その他

(一) 修 正

『長岡郷土史』執筆要項に従っていない場合は、長岡郷土史編集委員会で修正を行います。

(二) 抜き刷り

抜き刷りが必要な場合は、投稿者が直接、印刷所と交渉してください（その費用は執筆者の自己負担となります）。

(三) 見 本

編集委員会事務局に見本がありますので、必要な方はお申し出ください。

各論考は、各執筆者の責稿として発表しました。執筆内容・引用文献・図版にかかる御質問等については、各執筆者に直接お尋ねください。
(編集委員会)

郷土史に興味をお持ちの方

ご入会ください

会費は年間三千五百円で、会誌一部を贈呈、本会の諸活動のご案内を差し上げます。

入会の申し込み、お問い合わせは左記まで。

長岡郷土史研究会事務局

(長岡市歴史文書館内)

住 所 〒九四〇ー〇八四九

長岡市長倉西町四五八ー七

電 話 (〇二五八) 三六ー七八三二

FAX (〇二五八) 三七ー三七五四

会員の皆様へ

お知り合いの方で、郷土の歴史に興味をお持ちの人がいらっしやいましたら、ぜひ入会をお勧めください。連絡先をお教えいただければ、事務局からご案内をお送りします。